

## ジョシュア・W・ウォーカー略歴

2019年12月より、米国ニューヨークを拠点とする日米交流団体、ジャパン・ソサエティー理事長（第20代目）。

1歳から18歳まで、宣教師の両親のもと、日本の北海道札幌で過ごす。国際関係、官民パートナーシップなどを専門にビジネス外交分野で20年以上の経験を持つ。現職に就く前は、地政学的リスク分析を専門とするコンサルティング会社、ユーラシア・グループでグローバル戦略事業部長兼日本部長。2013年8月から2017年11月まで、米国大手戦略コミュニケーション会社APCOワールドワイドの世界戦略プログラム担当ヴァイス・プレジデントを務め、米国パビリオン館長として2017年に開催されたアスタナ国際博覧会（カザフスタン共和国）を率いた。ブランダイス大学、ジョージ・メイソン大学、およびハーバード・ケネディスクールなどで教鞭を執った。

リッチモンド大学卒。イェール大学大学院国際関係学部にて修士号、プリンストン大学にて政治学と公共政策の博士号を取得。イェール大学大学院在学中、在トルコ共和国アンカラ市米国大使館に勤務。その後、米外交問題評議会にて国際情勢フェローを務め、米務省でクリントン元国務長官のもと、グローバル・パートナーシップ・イニシアティブの一環で中東・北アフリカ問題上級アドバイザー、ケリー元国務長官のもとチーフエコノミスト室で上級アドバイザーを歴任。過去に、トルーマン・ナショナル・セキュリティ・プロジェクトの国家安全保障フェロー、米ジャーマン・マーシャル・ファンドのトランスアトランティック・フェロー、三極委員会デイヴィッド・ロックフェラー・フェロー、ミュンヘン・ヤング・リーダー、アメリカン・ターキッシュ・カウンシルのエグゼクティブ・ヴァイスプレジデント、全米国際姉妹都市協会名誉理事、創設者としてイェール大学国際問題ジャーナル編集長も務めた。トライリンガル（英語、日本語、トルコ語）。